

平成29年度第2回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 平成29年6月27日(火)
午後1時30分から午後3時10分

場 所 茂原市役所502会議室

出席者 委 員 14名

西條委員、久我委員、大木(義)委員【代理：大木(悠)】、木嶋委員、古市委員、
田中委員、米川委員、向後委員、田邊委員【代理：佐々木】、廣田委員、
岡崎委員【代理：池田】、板倉委員、鶴岡委員、正林委員

事務局 5名

都市計画課 河野次長、白井補佐、大橋係長、紺野、進

会議内容(進行：白井補佐)

1 開会 午後1時30分

要綱第7条第2項に基づき、出席委員14名で過半数に達しており会議成立。

2 会長あいさつ

3 議事

要綱第7条第1項に基づき、会長が議長となる。

(1) 運行計画の見直し(案)について

事務局より市民バスの見直し(案)について説明

<質疑>

委 員：この案が承認された場合、変更内容をどのように市民へ周知をして、実行するかが
大切である。

採決の結果、賛成多数により承認。

事務局よりデマンド交通の見直し（案）について説明

<質疑>

委員：前回の案と比べ、内容がだいぶきめ細かくなった。この案も変更内容をどのように市民へ周知をして、実行するかが大切である。デマンド利用者は予約受付時間が変わることにより、午後の予約が取りやすくなるだろう。

採決の結果、賛成多数により承認。

事務局より市民バスの運賃制度の見直し（案）、事業性の検証、見直しによる目標について説明

<質疑>

委員：デマンド交通の運行収支について、赤字覚悟で当該事業を行おうとしている。この計画案は市民に了解されるのか。

事務局：デマンド交通の運行収支については、計画案の承認後に運行事業者と詳細部分について協議する予定である。デマンド交通の収支差額は、平成27年度は260万円、平成28年度は237万円ある。今回試算したデマンド交通の運行収支は、平成27年度、平成28年度と比べ赤字額が多くなっているが、利用者の増加が見込まれるので、利便性の向上は図れると考えている。

委員：見直し後の市民バスの運行収支の見込みは1,513万の赤字で、デマンド交通を合わせると1,796万円の赤字である。この数値について尋ねたい。

事務局：市民バスとデマンド交通を合わせた運行収支については、平成27年度よりも平成28年度のほうが赤字額が減っているが、それは利用者数が増加したことにより、市の負担額が減ったためである。また、平成29年度は平成28年度と比べて、委託料の増加等により赤字額が増える見込みではあるが、平成27年度よりも赤字額は減少すると試算され、かつ利用者は増加すると見込まれるので、利便性の向上は図れると考えている。今後も事業者と協議を重ね、市の予算で出来る範囲で改善を図る予定である。

委員：市民バス・デマンド交通見直しによる目標の設定で、現状値（47.5%）に対して、60%を目指すと書いてある。このような目標を設定するときは長期計画、中期計画等があるが、計画期間を教えてください。

事務局：茂原市地域公共交通計画が平成32年までの計画となっており、また計画の目標達成の評価は、PDCAサイクルに基づき3年ごとに実施しているので、同様に3年とする。

委員：計画案の承認後、計画通りに進まない事態にならないように、よく検討して頂きた

い。

事務局：補足であるが、運行収支上の赤字との表現は、運行委託料等の支出から運賃収入を引いた市の負担額である。今回の見直し案は、平成27年度と平成28年度の間くらいの運行収支で収まるように計画している。

委員：いずれにしても事業は必ずお金が動く。支出と収入の関係をよく考えてセッションしていただきたい。まず実行し、どのように市民に伝達するのか。手法をよく考えて頂きたい。

採決の結果、賛成多数により承認。

(2) 生活交通確保維持改善計画（案）について

事務局より生活交通確保維持改善計画（案）について説明

<質疑>

委員：大変な計画であり費用が掛かるが頑張っていたいただきたい。

採決の結果、賛成多数により承認。

(3) その他

委員：ライドシェアについて調査・研究をお願いしたい。ライドシェアとは自家用車に他人同士で相乗りすることである。アメリカを中心に盛んになっている。日本でも一部採用しているところがある。ライドシェアは法的な規制があり、白タク自体は法律で禁じられている。日本あるいは地域的に可能性があるのかないのか、ぜひ先の話であるが勉強して頂きたい。

4 前回の会議概要について訂正等があれば7月14日（金）までの連絡を依頼。
また、次回の会議開催時期について、12月頃を予定していることを連絡。

5 閉会 午後3時10分